



1学期もあと残すところ1週間あまりとなりました。令和2年度1学期は、4月2週目から5月下旬まで新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業が続き、例年通りの教育活動がなかなか実施できない状況ではありましたが、1学期もあとわずかの登校日数とするところまでできました。授業時数確保のため、夏休みは、8月8日～17日の期間となりますが、夏休み明けの2学期からも、文部科学省の「学校の新しい生活様式」に従って、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続していきたいと考えています。今後とも保護者、地域の皆様には何かとご理解、ご協力、そしてご支援をいただくことになるかと思いますが、よろしく願いいたします。

PTA 講演会より

7月9日(木)、PTA講演会が実施されました。PTA教養委員会主催で行いましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加は生徒のみとし、体育館ではなく校内テレビ放送で行いました。講師のグーライト黒川秀樹様より、性被害防止に関するお話をいただきました。SNSなどインターネットを介した性被害の実態や予防のためにどうすることが大切なのか、またネットでのトラブルに巻き込まれないために、こういったことに注意して利用していったら良いか、といった内容について実例をまじえながら詳しくお話をいただきました。日頃、インターネットに接することの多い生徒達にとって、知らなかったことや今後の参考になったこともたくさんあったようでした。講演会で学んだことを生かし、ネットでのトラブルに巻き込まれないようにして欲しいと願っております。

【講演会を聴いての生徒の感想より】

○講師の先生の話聴いて、インターネットやSNSはとても危険なことがよくわかりました。今まで、ネットやSNSでは嘘の情報が流されることは知っていましたが、もっと危険なことがたくさんあることにびっくりしました。自分が悪くなくても、いろいろな被害に遭うことは怖いし、もし巻き込まれたらだれかに相談する勇気を持ちたいと思いました。今回の講演会で、いろいろなことを知ることができて良かったです。今回聴いたことを意識してネットやSNSを使いたいです。(1年生)



- たくさんの方が性被害に遭っているとは知らなかったのが、驚きました。SNSは知らない人とも簡単につながることができ、良いところもあるけど、悪質なことをする人もいるので、講演会で教わったように「知らない人には会わない」「個人情報を書き込まない」など、しっかりと対策を知っておくことが大切だと思いました。もし、SNSを使っていて困ったら、すぐに大人に知らせることが大切だと思いました。自分自身もSNSの利用をもう一度見直し、安全に楽しく使っていきたいです。(2年生)
- 性被害は、自分とは無関係だと思っていたけど、グラフなどを見て身近に感じ、怖いなと思いました。誰でも、自分と似た考えを持っている人に対し、親近感を感じると思うし、優しい言葉をかけられたら、信じ切ってしまうと思います。でも、相手が嘘をついているかも知れないし、そのせいで被害に遭ってしまうかも知れないとお聞きし、改めてネットは怖いな、と思いました。中学生でも、正しいことがしっかりと判断できないこともあると思うので、考えていかななくてはいけないな、と思いました。自分が被害者にも加害者にもなる可能性があることについて教えていただき、自分なりにしっかりと考えることができました。ネットの使い方について、もう一度しっかり考え今後生かしていきたいです。(3年生)

学びの保障アンケートより

保護者の皆様には、休業中の生徒の様子や今後の方向等についてのアンケート調査のご協力をいただきました。また生徒、教職員に対しても同様のアンケート調査を実施いたしました。その結果とそこから考えられることを、以下のようにまとめました。

【アンケート結果より、本校の強みとして考えられること】

- 学年が上がるにつれ、(休業中の)宿題の量が「適切」と感じている生徒が多くなる傾向があり、日頃の家庭学習の習慣が生かされている。
- 2、3年生は中学校生活にも慣れてるので、ある程度学校からの課題にも取り組むことができている。日々の家庭学習を大切にしていることで、急な休業にも対応できていた。
- オンライン学習についての教師側の意欲は高く、「学校」「家庭」のハード面やインターネットへの接続環境がそろえば、実施は可能であると考えられる。
- 休業中、「個別面談」の日を設定し、生徒と担任、また教科の先生と相談できたことで、家庭学習に対する不安もある程度解消できた。
- 保護者の記述から、臨時休業中の家庭学習について、家庭でも協力していきたいと考えてくださっている家庭が多かった。

【アンケート結果より、本校の弱みとして考えられること】

- 1年生は、入学後すぐの臨時休業であったため、中学校の生活に慣れておらず、学習方法等について未熟である。
 - 保護者より、リモートでの授業の要望もあったが、家庭でのネット環境が整っていない、兄弟が多く機器が使えない、といった意見や通信料がかかるので、ネットの利用について「反対」との意見もあった。多様な事情や意見のある中で、リモート授業を実施していくためには様々な課題があり、それらを乗り越えていく必要がある。
- ※本校の弱みを補い、強みを伸ばしていく具体策として、以下のようなことが考えられます。具体的な準備や指導を行いながら、様々な状況に柔軟に対応できるよう、備えをしていきたいと思えます。
- 第2波に備え、オンライン学習についての課題を乗り越えていくことができるよう、準備を進めておく。
 - 家庭学習のやり方について、またわからない問題へはどのように取り組んでいったら良いか、やり方、調べ方を特に1年生には指導を重ねておき、家庭学習でも困らないようにしておく。
 - 家庭学習を出す場合は、2段階に分け、「必修」は全員の生徒が無理なくできる量とし、全員が「できた」と実感のもてるものとする。また、「発展」として少し難しい問題や教科書の発展的内容の調べ学習を提示し、学習への興味関心を高め、自ら進んで学ぼうとする力を高めておく。

全校での合唱練習



本校では、合唱を「常盤中学校の宝」として、大切に扱ってきています。現在、感染予防の対策を十分にとりながら全校で合唱練習を行っています。帰りの学級活動の時間には、中庭を中心とし、中庭や1・2階の廊下、また1階から3階のバルコニーを利用し、全校で校歌の合唱練習を行っています。前後、左右十分な間隔を空け、感染予防に留意しながら練習を行っています。全校の歌声が響き合い、全校が一丸となって練習に取り組むことができます。今後も、感染予防に十分に留意しながら「常盤中学校の宝」である合唱の練習を続けていきたいと思っております。

お知らせ

8月22日(土)に予定しておりました**資源回収は、今年度は中止**といたします。ご承知おきください。

須崎市立常盤中学校

担当：教頭 新津朋典

電話：245-0326